

ええとこやんか三重 移住相談会 報告書



1 日時

平成30年2月24日（土） 13:00～16:00

2 場所

大阪ふるさと暮らし情報センター（大阪府大阪市中央区本町橋 2-31）

3 参加者等

三重県地域支援課 2名、尾鷲市3名、熊野市4名、伊賀市3名、志摩市1名、
移住検討者8組、紀北はまち座2名

4 目的

移住についての知識習得のため。具体的には、受入自治体は自地域についてどうい
ことを発信するのか、移住検討者はなにを求めて移住しようとしているのか、移住相談会
の現場で生の声を聞き、移住についての知識を深める。

5 プログラム

(1) 移住促進セミナー 13:00～14:00

○オープニングセミナー 13:00～13:30

講師：三重県地域支援課 河南 氏

建物などハード面を主な内容とする講演であった。「リノベーション」と「DIY」をテ
マに、リノベーションのメリットやポイントの紹介があった。

・「リノベーション」：よりよく創りかえる

- ・「DIY」：日曜大工のようなもの。自分でできることは自分で行う。

⇒ないものは創る

この考え方は田舎暮らしを行ううえで重要な考えかたである。

○先輩移住者の体験談 13:30～14:00



講師：埼玉から熊野市五郷町に移住してきた移住者

移住のきっかけ：もともと海が見える場所での田舎暮らしに憧れていたが、東京の移住相談会に参加した際、河南主事及び熊野市職員に惹かれて移住した。

移住をして良かった点、都会とは違うと感じた点を語っていただいた。

【良かった点】

- ・生活に必要なものを作って家族に喜ばれるのでやりがいに感じる。
- ・木材が安く手に入る。作業場も広いので、移住前ほど周囲に気をつかわなくてよくなった。

【都会とは違うと感じた点】

- ・給油器やトイレの設備については、物件によって条件が異なるので事前によく調べておくこと。トイレは汲み取り式で、定期的に業者を呼ぶ必要がある。地元の方や他の移住者から情報収集し、早まった判断をしないことが大切。

(3) 座談会・交流会 14:00～15:00

参加者及びブース出展者が円形になり自己紹介を初め、地域の魅力について紹介を行っていた。

○尾鷲市（地域おこし協力隊員3名によるPR）

- ・熊野古道をはじめ海・山に囲まれ自然豊かな環境がある。また、温暖な気候も強みである。

○伊賀市

大阪から近い。自然豊かで程よく便利。県内初の「移住コンシェルジュ」を置いている。

○志摩市

家賃補助などがある。的矢がき、海女など有名。サーフィンもできる。

○熊野市

山が多い。気候も人も暖かい。

○移住相談者 1

- ・ 去年から移住を検討しており、すでに複数回当相談会へ参加している。
- ・ 移住して小規模な菜園及び農業をしたい。
- ・ 今は大阪に住んでいるが津市出身であるため、当初三重県は移住候補先ではなかった。しかし、三重県の各自治体職員の話を知っているうちに、自分の求めている移住先の条件が三重県に合致していることに気付いてきた。



○移住相談者 2

- ・ 今日が初めての参加である。
- ・ 自分はなにを求めて移住したいのかイメージを掴みにきた。

当交流会・座談会にはまち座員 2 名も席を設けていただき自己紹介及び啓発物品を配布した。

・ 啓発物品



缶バッジ



南紀の台所

(4) 個別相談会 15:00～16:00



- ・各自治体ごとにブースに分かれ、相談者は自身の興味のあるブースで職員の話聞いていた。
- ・尾鷲市ブースには伝統産業を趣味とする相談者が訪れ、職員は尾鷲わっぱを紹介し相談者の興味を惹いていた。